

令和6年度 学校関係者評価報告書

教学寺幼稚園

1. 本園の教育目標

み仏様のみ教えのもと「心の教育」の追求と育成をその基盤として、文科省が示す幼稚園教育要領に則り個性を尊重してその向上・発展に努め、家庭教育と相俟って純真澆刺たる子どもに育てること。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

時代の流れや社会の変化、職員の入れ替わりがあったとしても、「教学寺幼稚園らしさ」を大切に守り続けながら、新たな価値観や多様化するニーズに柔軟に応じていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	評価の理由や取り組み内容
教師としての資質向上	B	各自が定めた研究テーマを輪番制にして議論した。行事や日々の保育のねらいにどんな意図があり、どう取り組んでいくかなど共通認識を持つことができ、保育の在り方を共有できた。また、自分の意見をまとめる中で発見や反省などが見つかったり、他の先生の話聞くことで良い刺激になったりした。今後も継続したい。
危機管理	B	年間計画を立てて避難訓練の回数を倍増した結果、子どもたちが地震・火災時に反射的に初期対応ができるようになった。また、マンネリ化しないよう訓練にバリエーションを加えることで、職員自ら危機状況を想定し問題点を見つけるなど、防災意識を高めた。ただ不審者対応については一考を要する。
環境構成	B	限られた空間で子どもたちが遊びやすいように、また成長を促せるように配置や子どもの要望に応える工夫をしたり、玩具を新調したりした。子どもたちと話し合いながらルールを決めることで、玩具を大切に扱うことや使い終わったら片付けることが自然と身に着くようになってきた。その他、園庭で見つけた季節の移ろいや小さな命の感動を率先して見つけ、子どもと共有した。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	園内研修については一定の成果があったと自負している。今後は、年間で計画を立てておくとか、正規職員だけでなくパート職員にも振り返りをお願いしたり、口頭だけでなく紙面で記録し、全職員で全園児の成長発達を丁寧に見守り情報共有することが必要だと思う。 今後は研修のテーマ自体も深く掘り下げて考えたいと思う。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
危機管理	今年度の実績を踏まえ、より具体的かつ質の高い避難訓練の実施や環境の改善に取り組む。
教師としての資質向上	目的と目標を明確化したテーマを選び研修を重ね、保育や行事に活かす。
環境整備	絵本、紙芝居、その他教材を見直し、子ども達の興味や好奇心をくすぐるものを選ぶ。

6. 学校関係者評価委員会の評価

日々、限られた時間と空間の中で、最大限幼稚園教育に取り組んでいただけたと感じている。先生方の目も行き届いているし、親の相談にも対応していただけた。

避難訓練に関しては定期的に行っているため、子ども達も積極的に参加して覚えて帰ってくる。子ども達の危機管理能力が身につけている。先生方の努力を感じる。

新しいおもちゃを買っていただき、家に帰ってから楽しそうに話していた。また、育てた花の観察も楽しんでた。

学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
委員会実施日

令和7年 2月 27日